

朝倉市 地域の経済動向分析

令和8年度版

数字で見る、朝倉のいまと、これから

市内で生まれた価値

2,905 億円

2022年・推計

延べ宿泊者数

22.1 万人

2025年

有効求人倍率

1.80 倍

2026年7月・朝倉管内

発行 朝倉商工会議所

作成 2026年9月(案。会議所の確認前)

目次

01	稼ぐ力とお金の流れ 市内で生まれた価値と、お金の流れ	p.6～10
02	人口と人の動き 人口と年齢の構成、出生・死亡と転入・転出	p.11～17
03	産業のすがた 働く人、身近な店、ものづくり、農業	p.18～25
04	観光と人の流れ 宿泊客と観光客、どこから来てどこを回るか	p.26～30
05	暮らし・雇用・景気 人手、賃金、所得、ふるさと納税、景気の実感	p.31～35
06	事業者の皆さまへ 業種別の着眼点、自社への問い、申請書に使える一文	p.36～46
	資料 用語の説明、データの読み方、出典	p.47～50

朝倉市の経済を「公的な統計」で見える化し、 経営のヒントにつなげる資料です

1

何がわかるか

朝倉市の「稼ぐ力」「人の動き」「産業」「観光」「雇用と景気」を、国・県の公的な統計と、国の地域経済分析システム(RESAS)で整理しました。

2

いつの数字か

最新の年は統計ごとに違います(2021～2026年)。各ページの下に時点と出典を書き、推計値には「推計」と明記しました。

3

どう使うか

自社の商圈やお客様、業種と重ねてご覧ください。各ページの「着眼点」は、経営指導員との相談のきっかけにお使いください。

色と印の見方

 朱色＝特に見てほしい数字
や、比べる相手

参考

朝倉市ではなく、県・九州・
全国の値
「推計」＝他の統計から計算した値
「p.○」＝詳しく説明している頁

数字で見る朝倉のいま

人口(2025年10月)

47,469 人

5年で2,804人(5.6%)減
国勢調査の速報値

65歳以上の割合

36.1 %

住民基本台帳(2026年1月)
社人研の推計では
2050年に44.3%

市内で生まれた価値

2,905 億円

2022年・推計
51%が第2次産業
(全国は26%)

延べ宿泊者数

22.1 万人

2025年。4年で1.7倍
うち県外からは3.6倍

有効求人倍率

1.80 倍

2026年7月・朝倉管内
県全体は1.02倍

農業産出額

166.2 億円

2024年・推計
ねぎ全国4位、かき全国7位

今年の報告の5つのポイント

1

ものづくりが稼ぎ頭 p.8

市内で生まれた価値の51%が第2次産業(全国は26%)

2

お金の一部は市外へ p.7、10

卸売・情報通信・専門サービスなどは、市外から買う額の方が多い

3

人口は減少・高齢化 p.12~14、16

ここ4年は毎年500人超の自然減。社会増減は3年続けてプラス

4

延べ宿泊者数は4年で1.7倍 p.27~30

県外(長崎・大分・熊本など)からの宿泊客が伸びている

5

人手不足が深刻 p.32

朝倉管内の有効求人倍率は1.80倍。県全体(1.02倍)を大きく上回る

01

稼ぐ力とお金の流れ

市内で1年間に生まれた価値と、それが誰の所得になっているかを見ます。

市内で生まれた価値

2,905 億円

2022年・推計

第2次産業の割合

51.2 %

全国は25.6%

地域経済循環率

117.0 %

良し悪しの指標ではない

市内で生まれた価値(2,905億円)は、 住民などの所得(2,483億円)より大きい

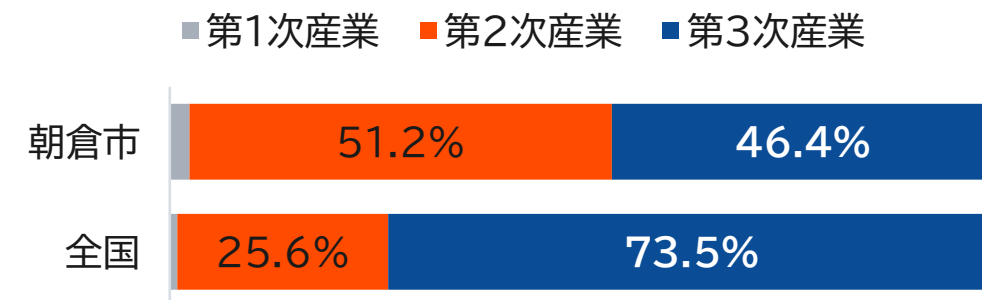


読み方

- 市内で生まれた価値(生産)が、住民や企業が受け取る所得(分配)を17%上回っています。
- 環境省の解説では、100%を超える地域は「稼ぐ力はあるが、所得の一部が市外に流れている可能性がある」とされます。ただし、高い・低いで良し悪しを判断する指標ではありません。
- 例えば、工場の利益の一部が市外の本社へ、給料の一部が市外に住む従業員へ流れている可能性があります(推計からの読み取り)。

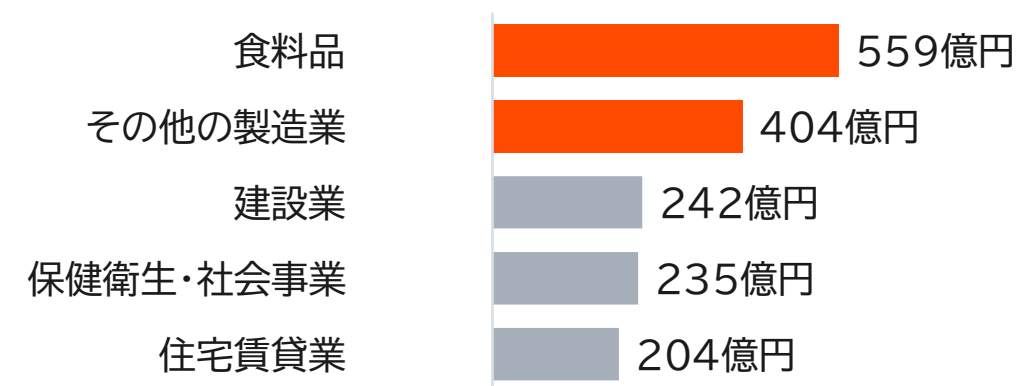
朝倉市は「ものづくり」で稼ぐまち。 市内で生まれた価値の51%が第2次産業です

市内で生まれた価値の産業別の割合(2022年)



第1次産業＝農林水産業(朝倉市2.4%・全国0.9%)／第2次産業＝製造業・建設業など／第3次産業＝商業・サービスなど

市内で生まれた価値が大きい業種(上位5、2022年)



第2次産業の1人当たり付加価値

1,924 万円

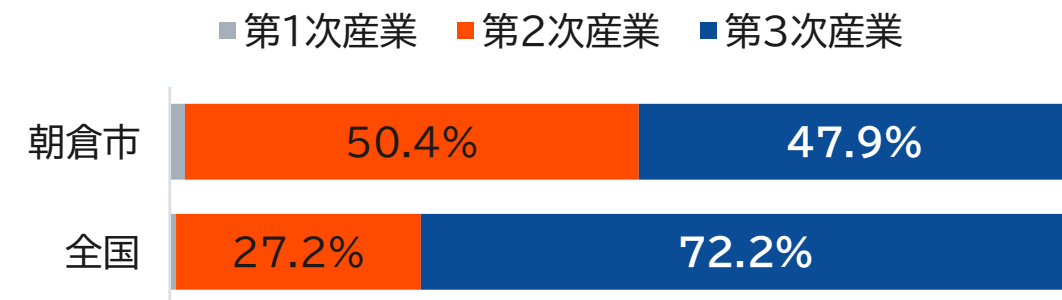
全国の市区町村で124位
(2022年・推計)

事業者の着眼点

- 工場との取引(部品・資材・保守・物流)に入れる商品やサービスはないか
- 工場で働く人の食事・買物・送迎などの需要に応えられないか

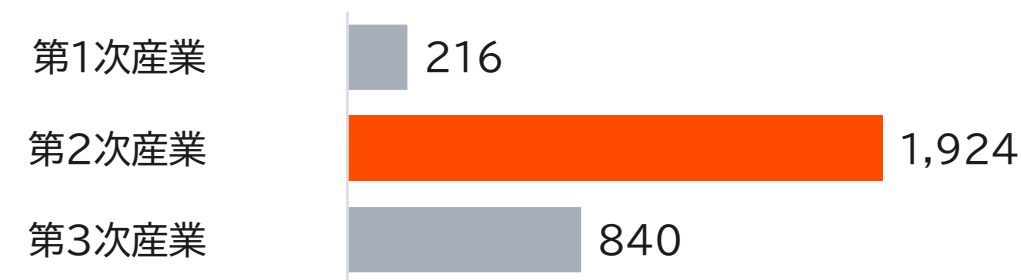
市内で支払われる給料の50%は第2次産業から。 全国(27%)を大きく上回ります

給料(雇用者所得)の産業別の割合(2022年)



第1次産業は朝倉市1.7%・全国0.7%

働く人1人当たりの付加価値(2022年、万円)



全国の市区町村での順位 第1次産業1,070位 第2次産業124位 第3次産業635位

出典:環境省「地域経済循環分析」(2022年、推計値)をRESAS(地域経済循環分析)から加工して作成

読み方

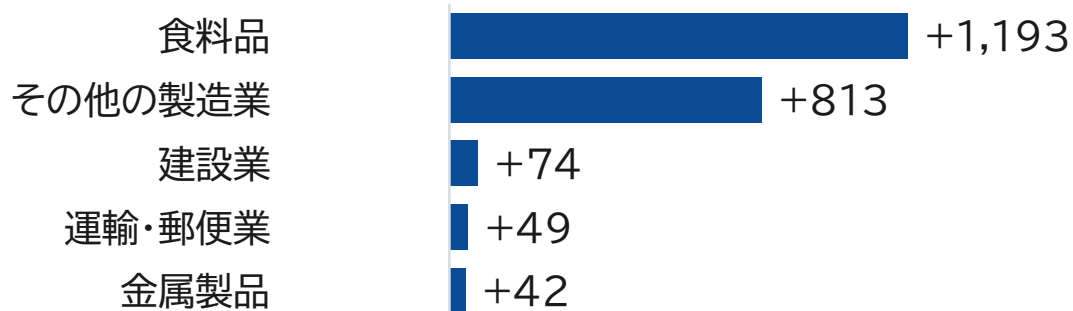
- 給料＝市内の事業所が働く人に支払った所得(雇用者所得、推計)
- 付加価値を働く人の数で割り、ひとりが生んだ価値を見ます

事業者の着眼点

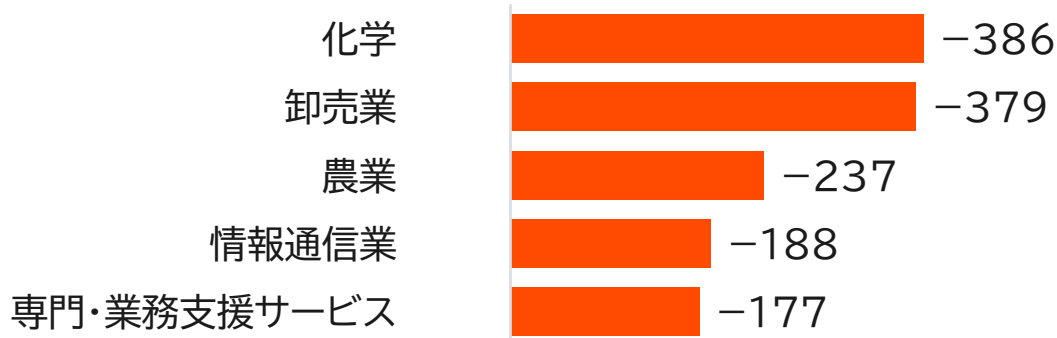
- 給料の半分を支払う第2次産業と、人材を取り合っていないか
- 自社の1人当たりの粗利を、同じ業種の水準と比べてみる

食料品や製造業が市外から稼ぐ一方、卸売・情報通信・専門サービスでは、お金が市外へ出ています

市外に売って稼いでいる分野(移輸出入収支、2022年、億円)



市外から買ってお金が出ている分野(同、億円)



移輸出入収支 = 市外へ売った額 - 市外から買った額(推計値)

出典:環境省「地域経済循環分析」(2022年・推計値)をRESAS(生産分析)から加工して作成。上位5・下位5のみ

事業者の着眼点

- 市外から買っている商品・サービス(卸・IT・デザイン・専門サービスなど)を、市内で提供できないか
- 仕入れや外注を、市内でまかなえないか
- 市外に売れている食品・製品の取引に加われないか

02

人口と人の動き

人口の数と年齢の構成、出生・死亡と転入・転出の動きを見ます。

人口

47,469 人

2025年10月・速報

65歳以上の割合

36.1 %

2026年1月・住民基本台帳

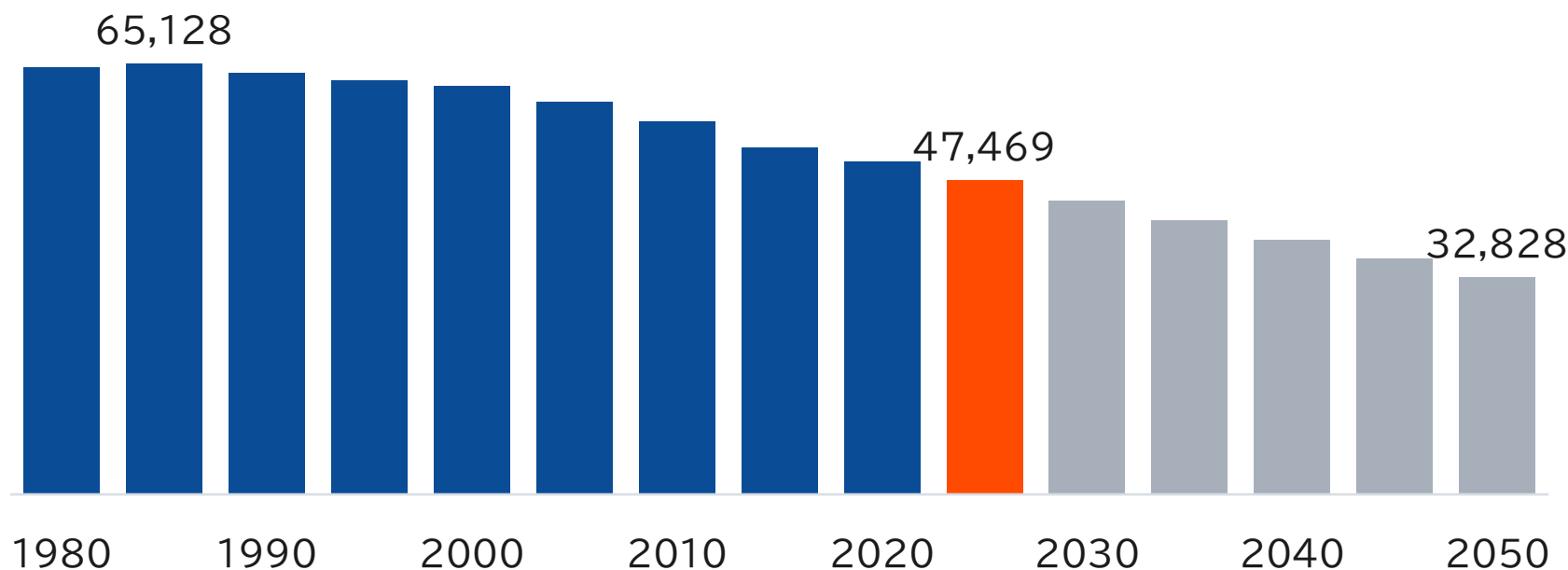
自然増減

－559 人

2025年

人口は2025年に47,469人(速報)。 2050年には約3.3万人になる見通しです(推計)

朝倉市の総人口(人、年) 青＝国勢調査 朱＝2025年国勢調査の速報 灰＝将来の推計
1980～2005年は、合併(2006年3月)前の旧甘木市・朝倉町・杷木町の合計です

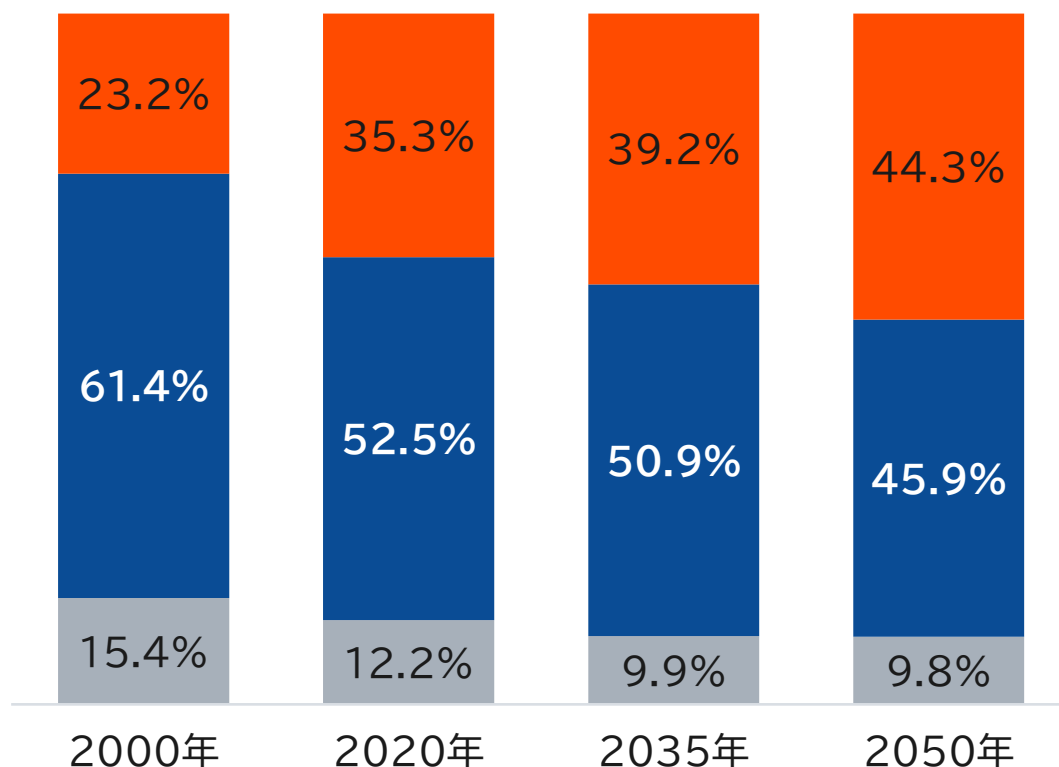


5年間で**2,804人(5.6%)減少**。一方で世帯数は**554世帯増えて20,010世帯**に。1世帯あたりの人数は2.58人から2.37人に減っています(計算値)。

2050年には市民の44%が65歳以上に。 働く世代(15～64歳)は半分を下回る見通しです

年齢3区分の割合(2035年・2050年は推計)

■ 0～14歳 ■ 15～64歳 ■ 65歳以上



65歳以上の割合(2020年)

35.3 %

国勢調査の値
住民基本台帳(2026年1月)
では36.1%。数え方が違う

事業者の着眼点

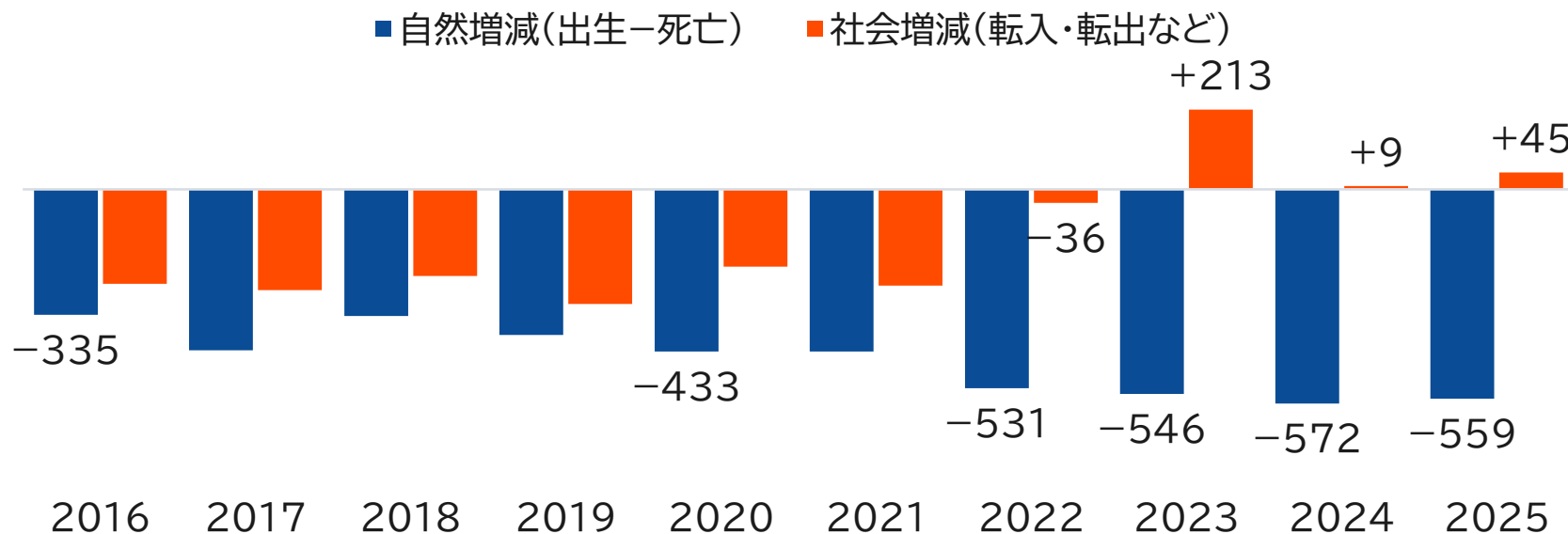
- 高齢のお客様へ
配達・見守り・小分け
- 担い手の確保と
事業の承継を早めに

割合は年齢不詳を除いて計算(2020年は不詳564人)

出典:総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「地域別将来推計人口(令和5年推計)」(RESASから加工)

ここ4年は毎年500人を超える自然減。 社会増減(転入・転出など)は3年続けてプラス

人口の増減の内訳(人、各年1～12月)



自然減が拡大

2020年 433人減
2025年 559人減

社会増減はプラスに

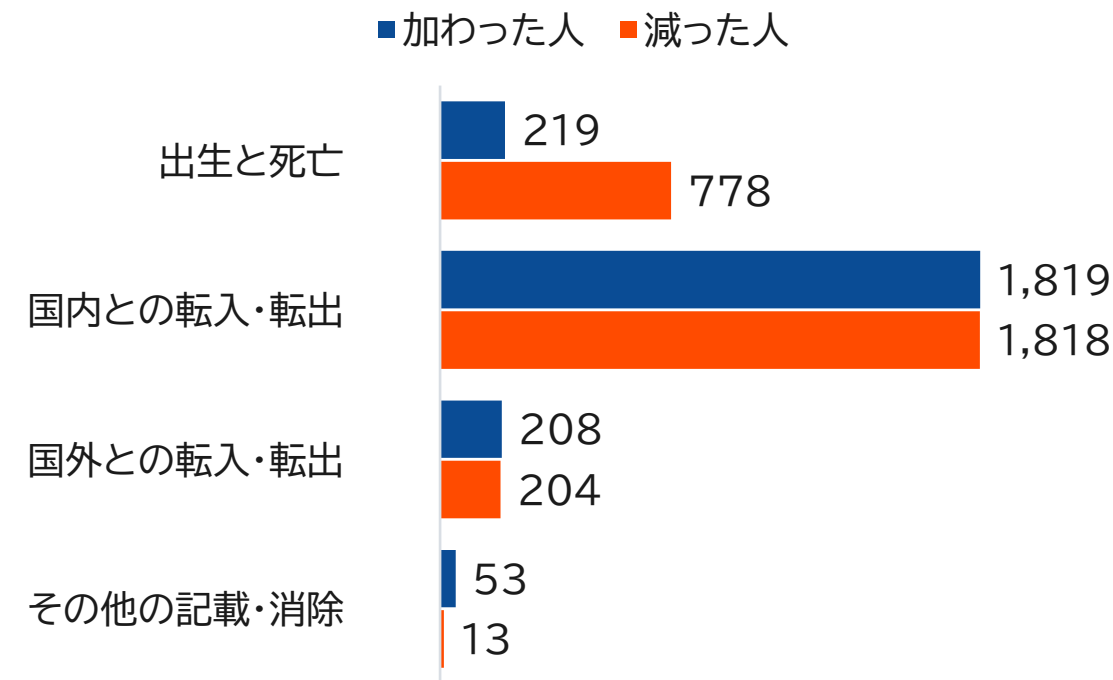
3年続けてプラス
2025年は45人増

理由はまだわかりません

外国人住民を含む数
国内の転入と転出は
ほぼ同数

2025年の出生は219人、死亡は778人。 転入2,027人と転出2,022人は、ほぼ同じです

2025年に市に加わった人・市から減った人(人)



その他の記載・消除＝転入・転出の届出以外で住民票に加わる・消える人(職権での記載・消除など)

外国人住民を含みます。国勢調査とは数え方が違います

1年間の差し引き

−514人

加わった人 2,299人

減った人 2,813人

自然増減 −559人

社会増減 +45人

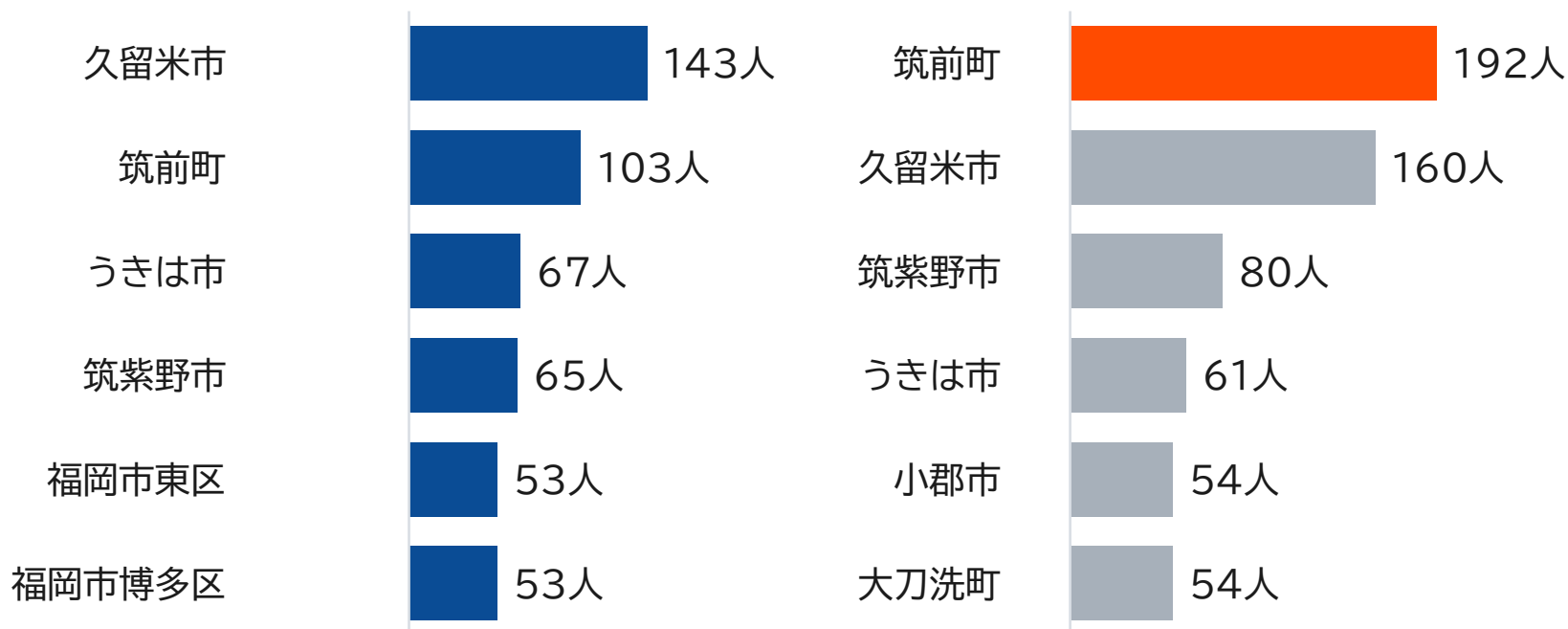
事業者の着眼点

- 人口は1年で約1%減る計算。客単価とリピートを大切に
- 年2,000人の転入者は新しいお客様

引っ越しの相手は、筑前町・久留米市が中心。 筑前町へは、出ていく人が来る人を上回っています

来た人(転入元の上位、2024年)

出ていった人(転出先の上位、2024年)



着眼点 近くの市町とは人の行き来が多く、お客様・働き手・後継者の候補も、この範囲にいるかもしれません。求人や販促は近隣も視野に。

住民基本台帳では、65歳以上が17,889人(36.1%)。 働く世代は26,116人、0～14歳は5,505人です

年齢別の人数(2026年1月1日、人) 総人口 49,510人

0～14歳

5,505人

総人口の11.1%

15～64歳

26,116人

総人口の52.7%

65歳以上

17,889人

総人口の36.1%

住民の年齢構成

11.1%

52.7%

36.1%

読み方

- 住民票の登録にもとづく数で、外国人住民も含みます
- 国勢調査(p.12、13)とは数え方が違うため、並べて比べません

事業者の着眼点

- 65歳以上の約1.8万人に合う、配達・予約・少量の品ぞろえを
- 子育て世帯の数も確かめる

03

産業のすがた

どの産業で多くの人働き、どんな店や工場、農業があるのかを見ます。

製造業で働く人

5,511 人

2021年・最多の産業

農業産出額

166.2 億円

2024年・推計・県内4位

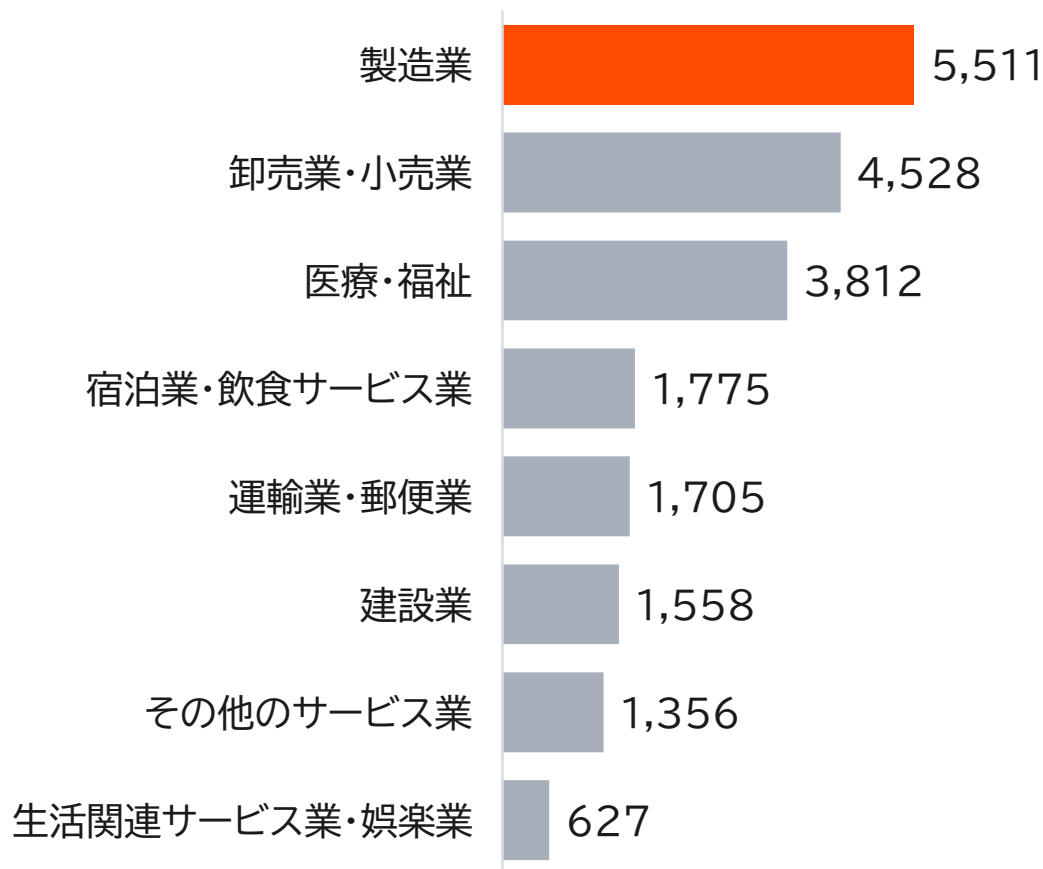
飲食店の数

208 事業所

2021年(5年前は240)

働く人がいちばん多いのは製造業(5,511人)。 卸売・小売、医療・福祉が続きます

産業別の従業者数(2021年6月、人)



事業所数の最多

654 事業所

卸売業・小売業(2021年)

読み方

- 製造業：
1か所の人数が多い
(大きな工場)
- 商業・サービス：
小さな事業所が多い

市内の主な14業種を一覧に。1事業所あたりの 人数は、製造業が28人で最も多い

業種(大分類)	事業所	働く人	1事業所あたり
製造業	195	5,511人	28.3人
卸売業・小売業	654	4,528人	6.9人
医療・福祉	187	3,812人	20.4人
宿泊業・飲食サービス業	255	1,775人	7.0人
運輸業・郵便業	75	1,705人	22.7人
建設業	248	1,558人	6.3人
その他のサービス業	196	1,356人	6.9人
生活関連サービス業・娯楽業	185	627人	3.4人
不動産業・物品賃貸業	101	494人	4.9人
複合サービス事業	27	431人	16.0人
金融業・保険業	27	342人	12.7人
学術研究・専門・技術サービス業	77	307人	4.0人
電気・ガス・熱供給・水道業	6	87人	14.5人
情報通信業	9	31人	3.4人

読み方

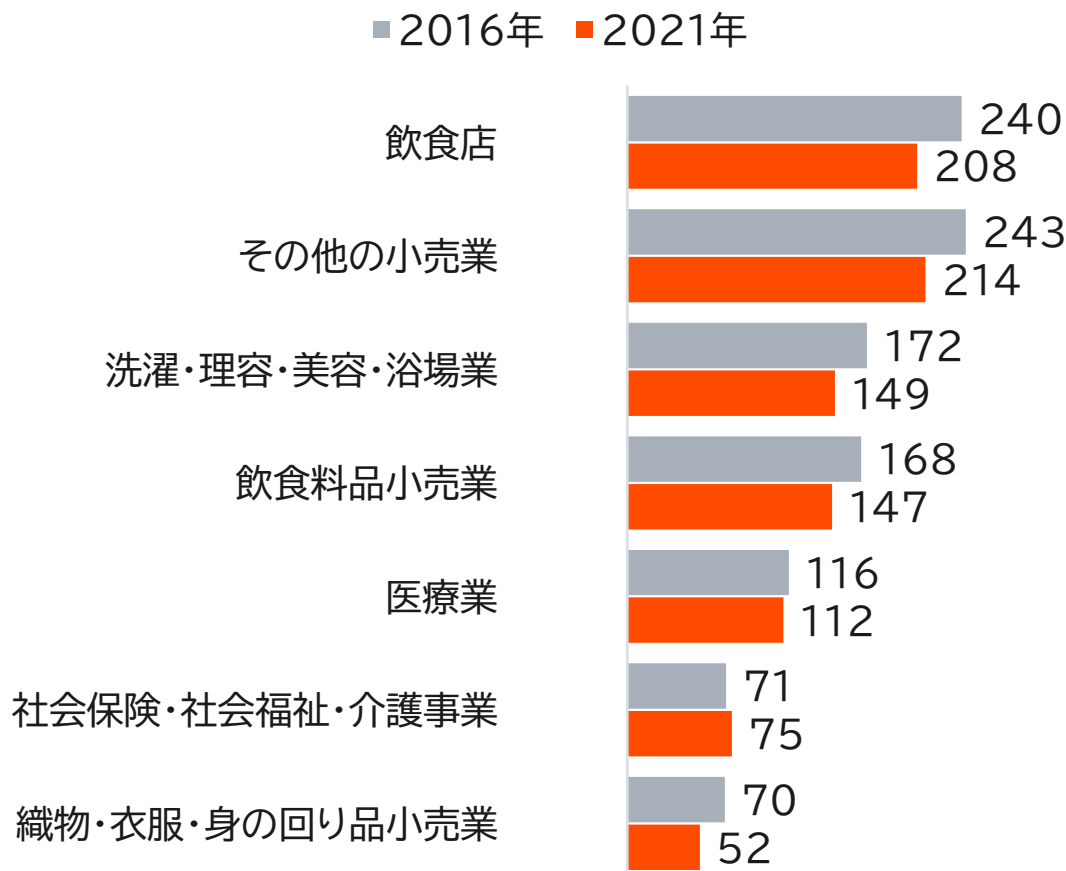
- 働く人の多い順
- 1事業所あたり＝働く人
÷事業所(計算値)
- 教育・農林漁業・公務な
どは含みません

事業者の着眼点

- 自社の業種の規模
を、市内の全体と
比べてみる
- 取引先・お客様に
なる業種を探す

飲食店は240→208、食料品店は168→147に。 暮らしに身近な店が5年で減っています

暮らしに身近な業種の事業所数(2016年→2021年)



減った

飲食店 -32

その他の小売 -29

理容・美容など -23

食料品店 -21

衣服など -18

増えた

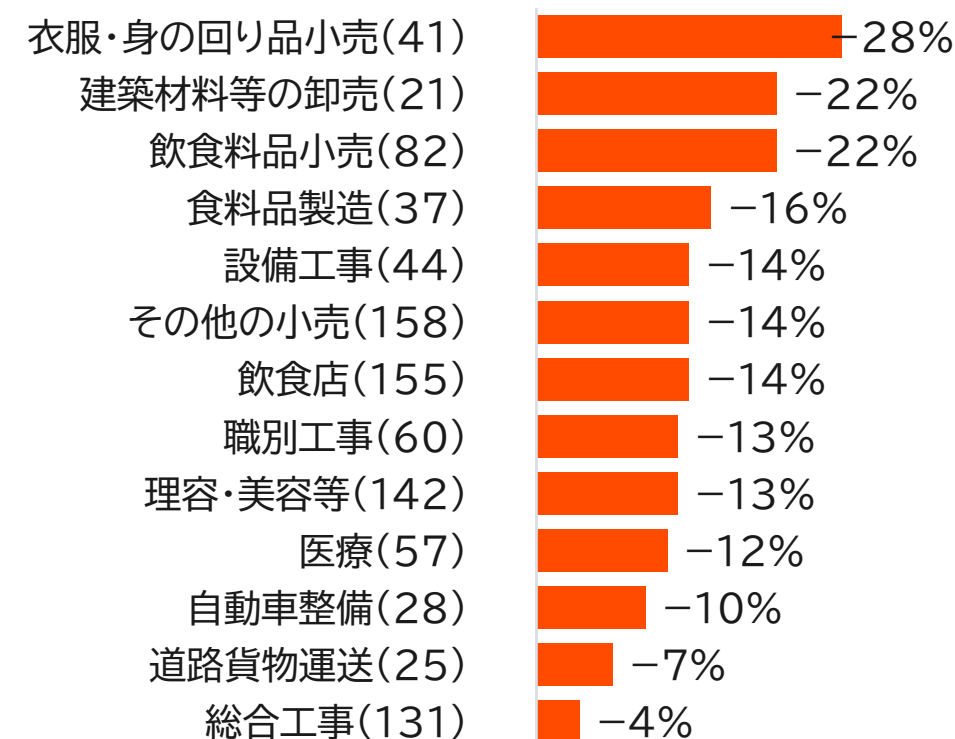
介護事業 +4

注意

豪雨とコロナ禍の時期
を含む

小規模事業者の事業所は、主な26業種中15で減少。 小売・飲食・工事では、1割を超えて減った業種も

減った業種(2016年→2021年の増減率)



増えた業種(同)



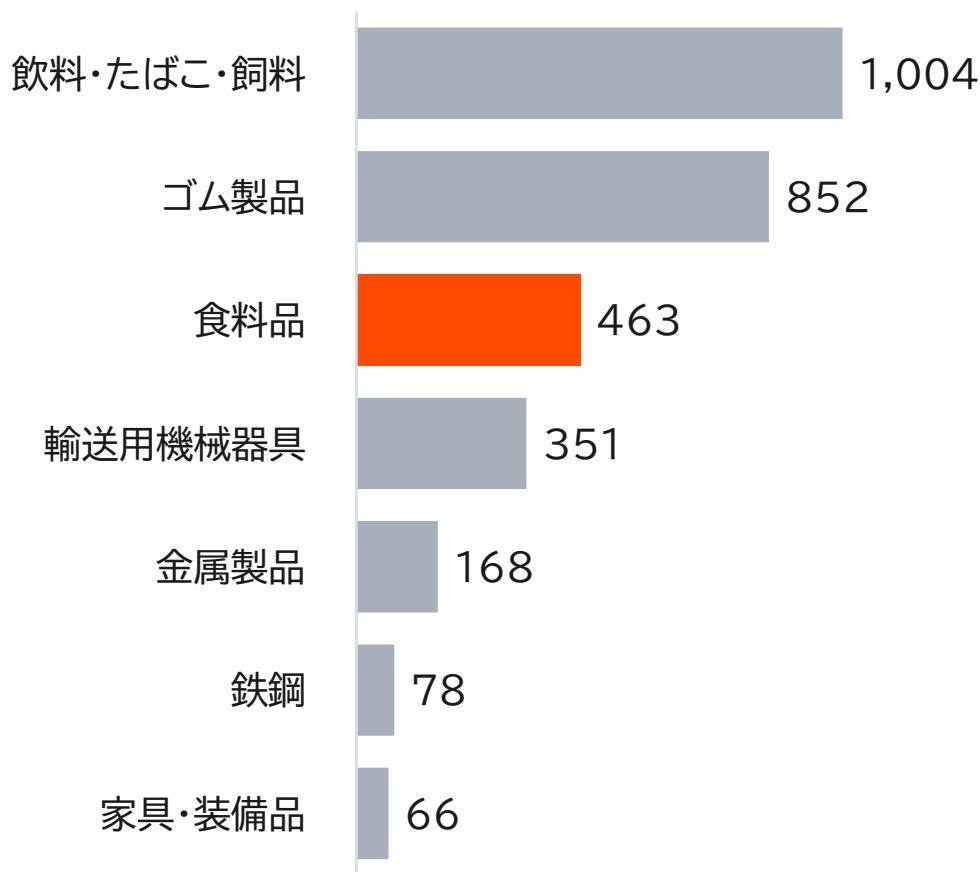
事業所が20未満の業種 (数か所の増減で率が大きく動く)

倉庫 9か所 +200%
 事業サービス 13か所 +117%
 物品賃貸(レンタル等) 13か所 +86%
 機械器具卸売 16か所 +45%
 無店舗小売(通販等) 15か所 +36%
 娯楽 9か所 +29%
 宿泊 15か所 -12%
 家具・装備品製造 13か所 -38%

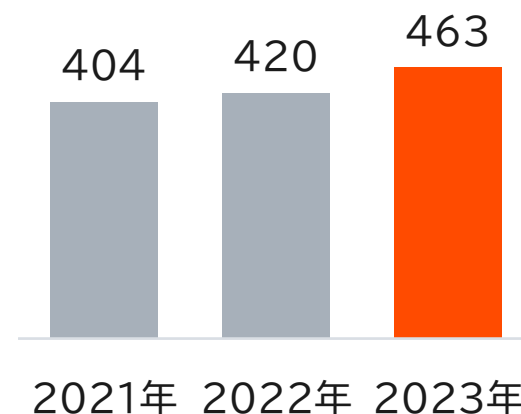
()は2021年の事業所数(20以上の業種)。全規模の事業所数とは数え方が違います。豪雨・コロナ禍の時期を含む

製造品の出荷額は、飲料・ゴム製品・食料品が中心。 食料品は2021年から毎年増えています

業種別の製造品出荷額等(2023年、億円)



食料品の出荷額(億円)

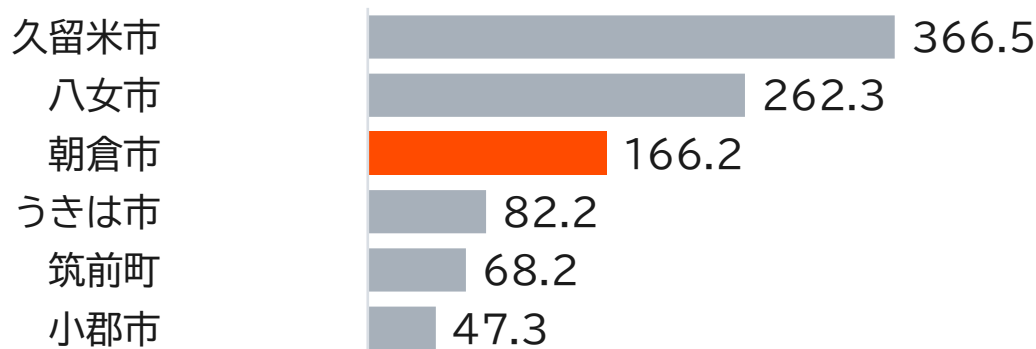


事業者の着眼点

- 地元の農産物で加工品・土産品を
- 食品工場との取引・協力

農業産出額は166.2億円で県内4位。 ねぎは全国4位、かきは全国7位の産地です

近くの市町と比べた農業産出額(2024年、億円)



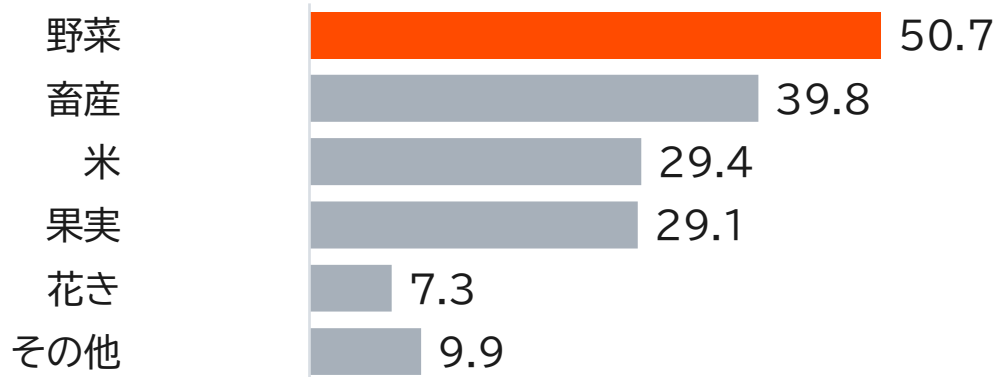
ねぎ(全国4位・県内1位)

22.6 億円

かき(全国7位・県内2位)

15.0 億円

朝倉市の部門別の産出額(2024年、億円)



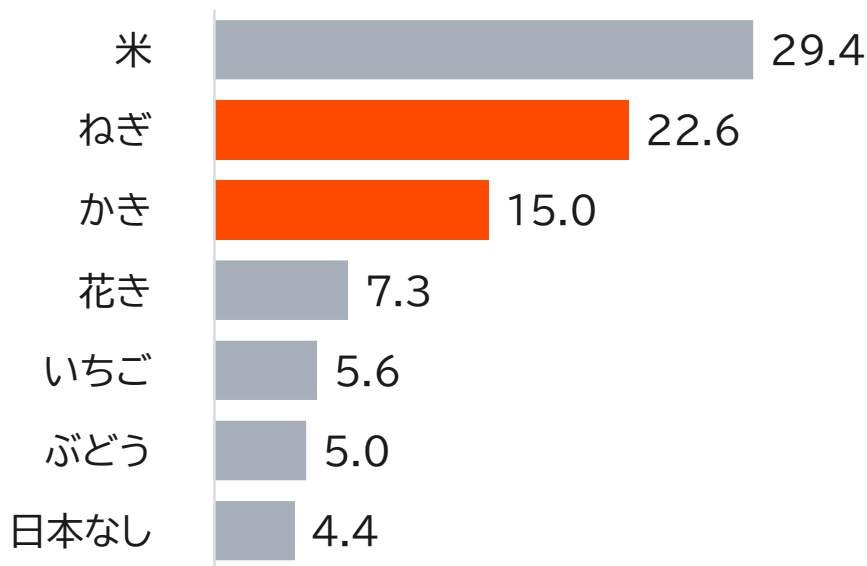
事業者の着眼点

- ねぎ・かきを使った加工品やメニュー
- 観光客・県外の方への直売や通販

出典:農林水産省「令和6年 市町村別農業産出額(推計)」(2026年7月公表)。その他は総額から5部門の合計を引いた値

県内の順位は、ねぎ1位、米・かき2位、日本なし3位。 県内で上位の品目が並ぶ産地です

主な品目の産出額(2024年、推計、億円)



品目	県内	全国
ねぎ	1位	4位
米	2位	250位
かき	2位	7位
日本なし	3位	40位
花き	6位	107位
ぶどう	7位	69位
いちご	11位	84位

部門の計:野菜 50.7/果実 29.1/畜産 39.8/総額 166.2(億円)

品目は部門の内数(ねぎ・いちごは野菜、かき・ぶどう・日本なしは果実)。順位は推計値にもとづく目安です

着眼点 県内で上位の品目は、それだけで「産地の強み」。加工品・メニュー・土産に「朝倉産」を名乗れるものはないか。

04

観光と人の流れ

観光で訪れる人がどこから来て、どこを回り、何にお金を使っているかを見ます。

延べ宿泊者数

22.1 万人

2025年

県外からの宿泊

3.6 倍

2021年→2025年

国内の観光客

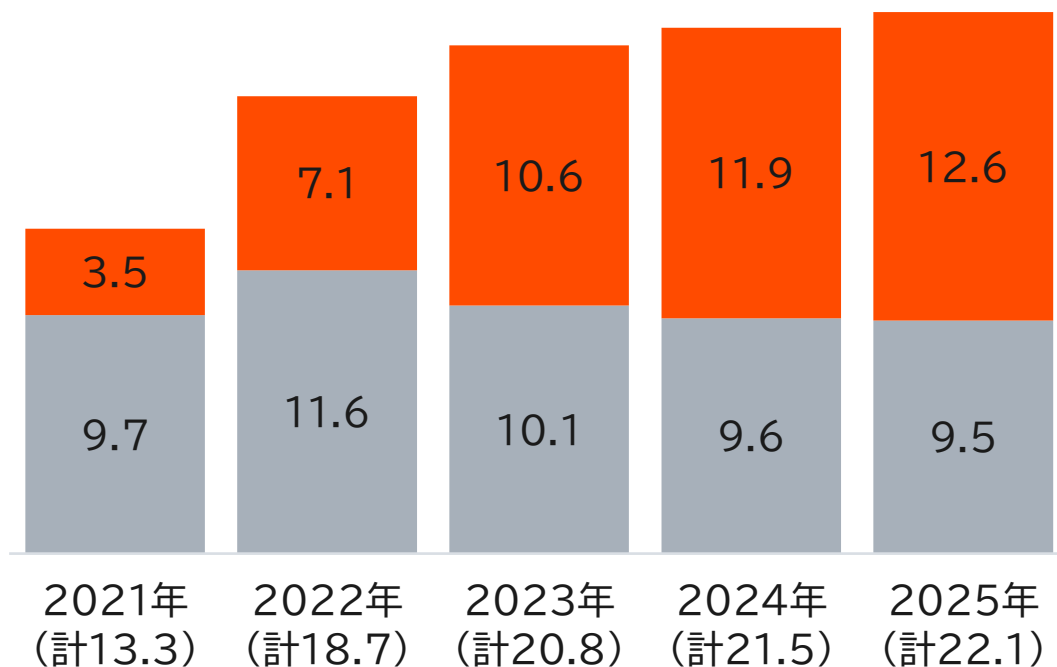
34.3 万人

2025年・推計

延べ宿泊者数は4年で1.7倍の22.1万人に。 伸びているのは、県外からの宿泊客です

延べ宿泊者数(日本人、万人)

■福岡県内から ■県外から



(計)は合計。四捨五入のため、内訳の和と0.1ずれることがあります。2021年はコロナ禍の影響がある年です

出典:観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」
(RESAS 宿泊者分析から加工)。県外＝合計－福岡県

県外からの宿泊

2021年 3.5万人

2025年 12.6万人

伸びた県

長崎 0.2→1.2万人

大分 0.1→1.0万人

熊本 0.1→0.9万人

県内からの宿泊

2022年 11.6万人

2025年 9.5万人

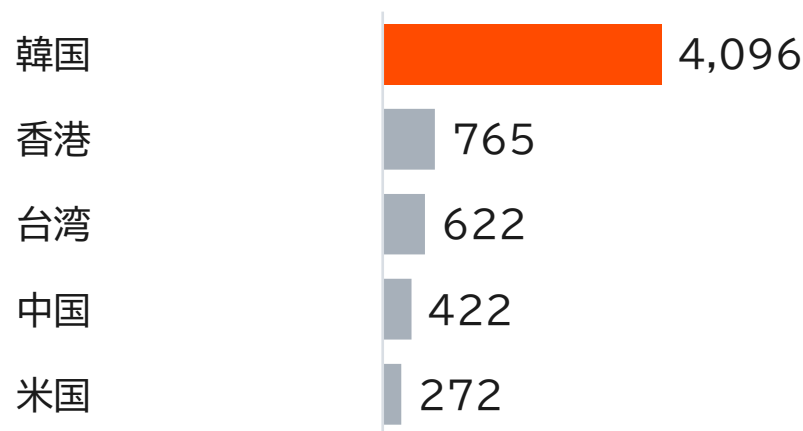
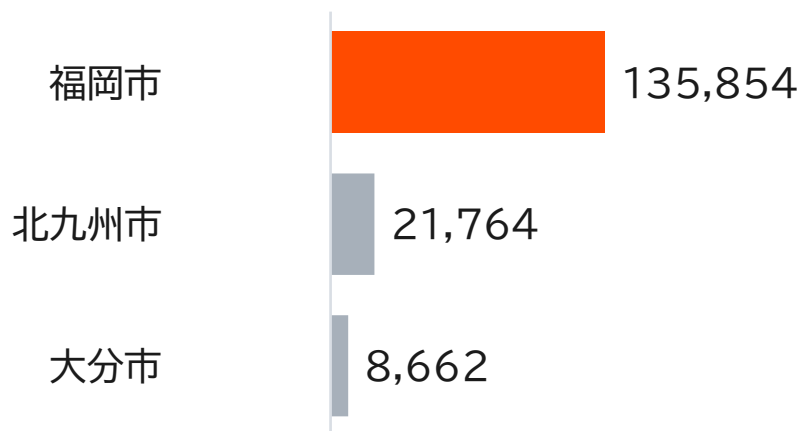
事業者の着眼点

- 長崎・大分・熊本の
お客様に向けた発信

観光で訪れる人の4割は福岡市から。 海外からのお客様は、韓国が半分以上を占めます

国内(推定居住地の上位3、2025年、人)

海外(カード発行国の上位5、2025年、人)



国内の観光客

34.3 万人

2025年・推計

海外からの観光客

7,546 人

2025年・推計

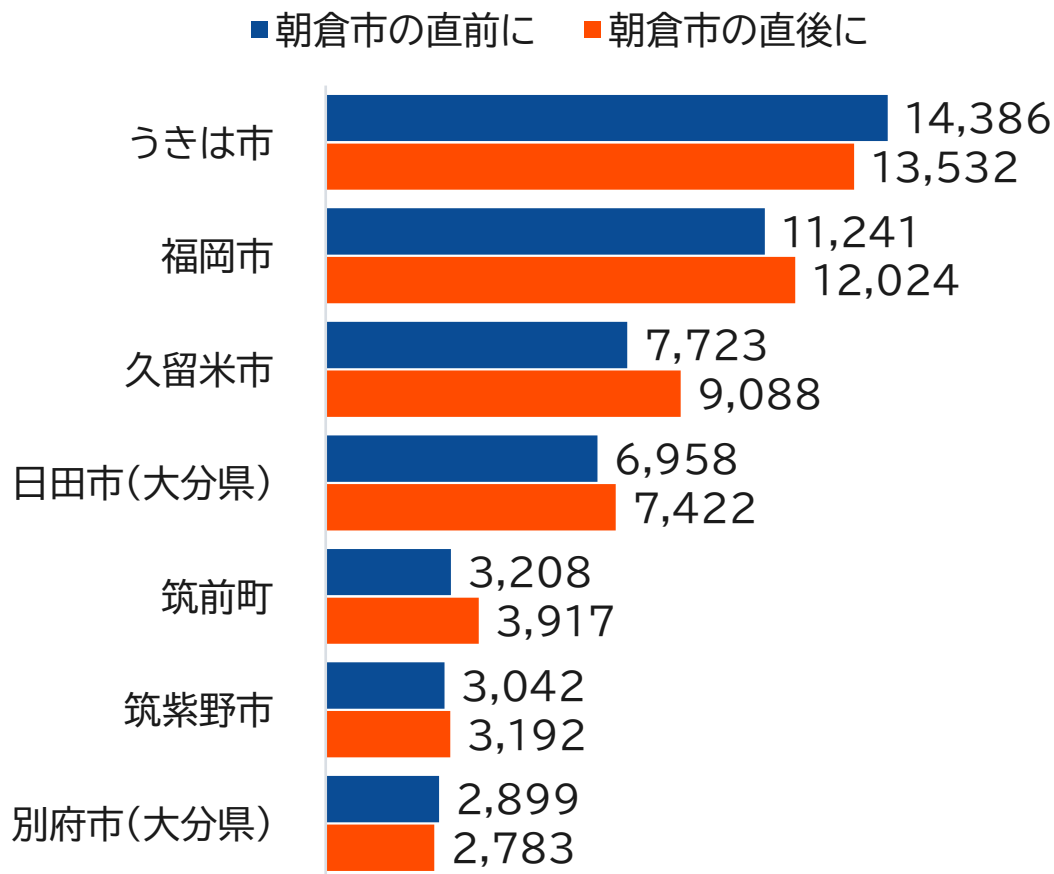
福岡県内での順位

11 位

60市町村中(国内客)

朝倉の前後には、うきは市や日田市を訪れる人が多く、筑後川沿いを周遊する流れが見えます

朝倉市の前後に訪れた市町村(国内客の上位7、2025年、人)



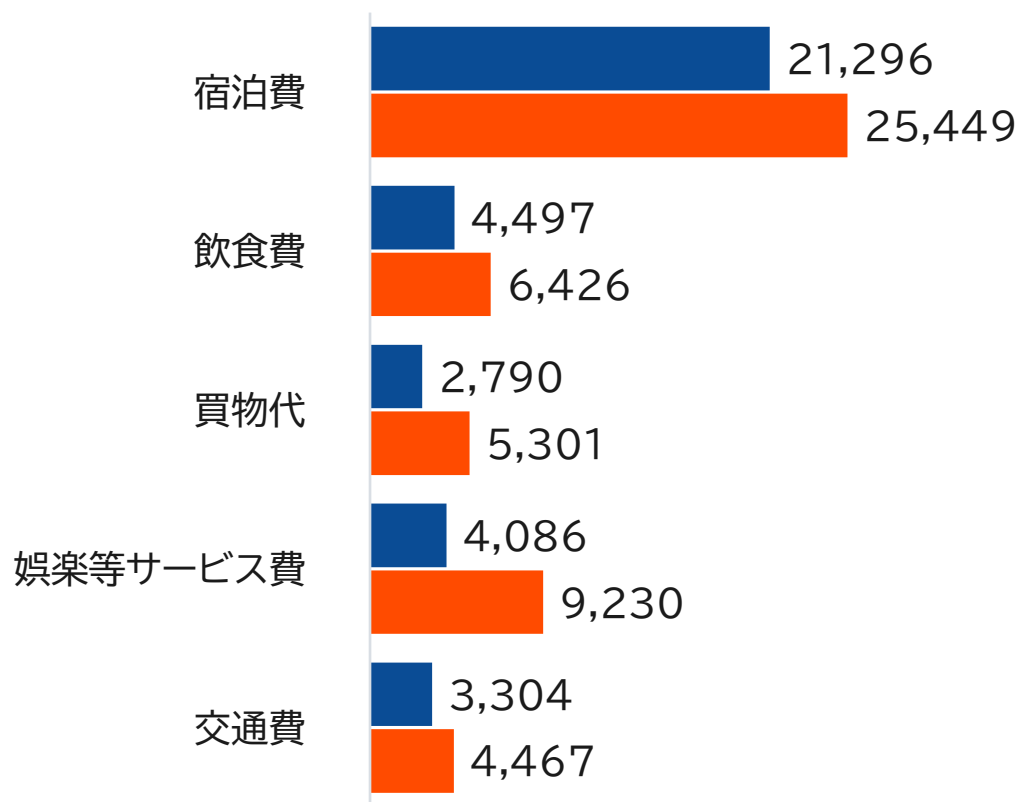
事業者の着眼点

- うきは・日田と組んだ周遊の提案
- 道の駅や観光地で立ち寄りやすく
- 別府・由布院へ向かう人に選ばれる土産・食事

買物をした観光客1人あたりの買物代は、 国内客2,790円、海外客5,301円です

費目ごとの支払額(支払った人の平均、2025年、円)

■ 国内の観光客 ■ 海外からの観光客



事業者の着眼点

- 持ち帰りやすい
特産品・加工品
- カード決済など
キャッシュレス対応
- 海外客向けの表示
(韓国語など)

読み方

費目別の金額は、その費目を支払った人だけの平均です。全体の平均(国内5,075円・海外7,744円)とは分母が違います。

05

暮らし・雇用・景気

人手の状況、賃金、課税対象所得、ふるさと納税、景気の実感を見ます。

有効求人倍率

1.80 倍

2026年7月・朝倉管内

最低賃金(改定後)

1,114 円

2026年10月4日発効

ふるさと納税

19.6 億円

令和7年度・決算見込

人手不足は、有効求人倍率で県全体を上回ります。 10月4日から最低賃金は1,114円に上がりました

有効求人倍率(朝倉公共職業安定所管内)

1.80 倍

2026年7月(原数値)

仕事を探す人1人に1.8件の求人
朝倉市・朝倉郡をあわせた値
新規求人倍率は1.95倍

福岡県全体の有効求人倍率

1.02 倍

2026年7月(原数値)

原数値＝季節による増減を調整していない値
新規求人倍率は2.08倍

福岡県の最低賃金(改定後)

1,114 円

2026年10月4日発効

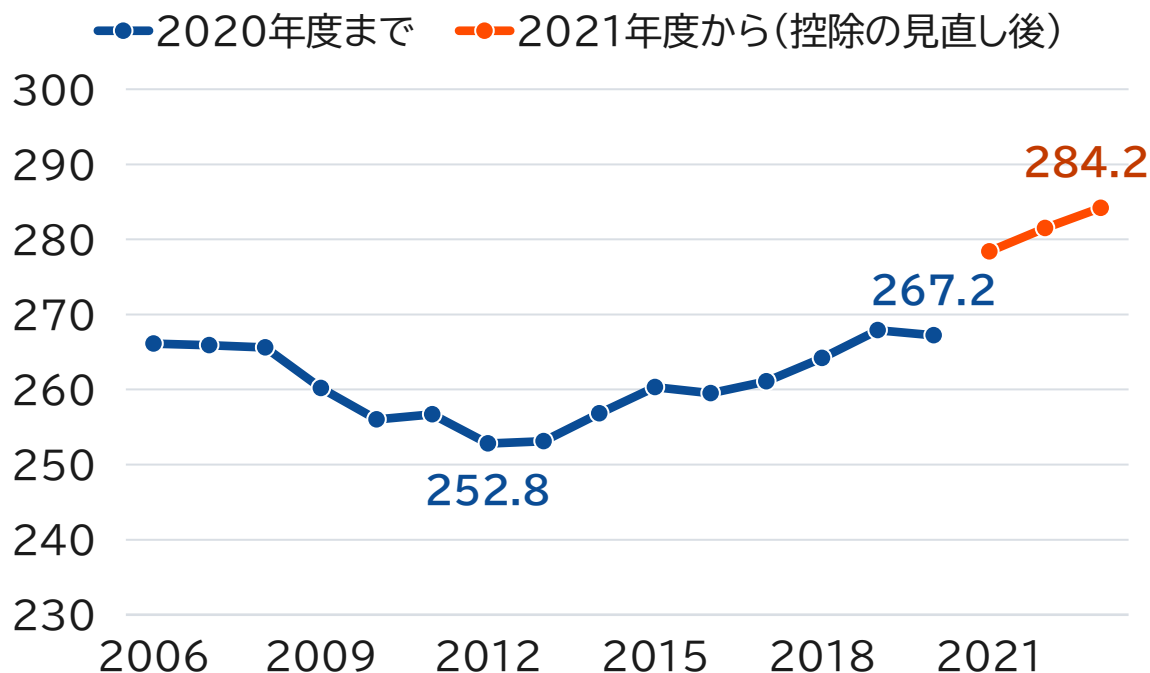
改定前の1,057円から57円の引上げ

事業者の着眼点

- 人を増やす前に、作業の見直し・機械化・IT化で手間を減らす
- 賃上げに備えた価格の見直しと、利益の出る商品への集中

1人当たりの課税対象所得は、2012年度が底。 2021年度の段差は、控除の見直しによるものです

納税義務者1人当たりの課税対象所得(年度、万円)



2020年度(見直し前)

267.2 万円

2006年度の266.1万円
と、ほぼ同じ水準

2023年度は284.2万円
(見直しの後)

事業者の着眼点

- お客様の所得の変化を、価格と品ぞろえに反映できているか

課税対象所得の総額÷所得割の納税義務者数(計算値)。年度は住民税の年度で、前の年の所得

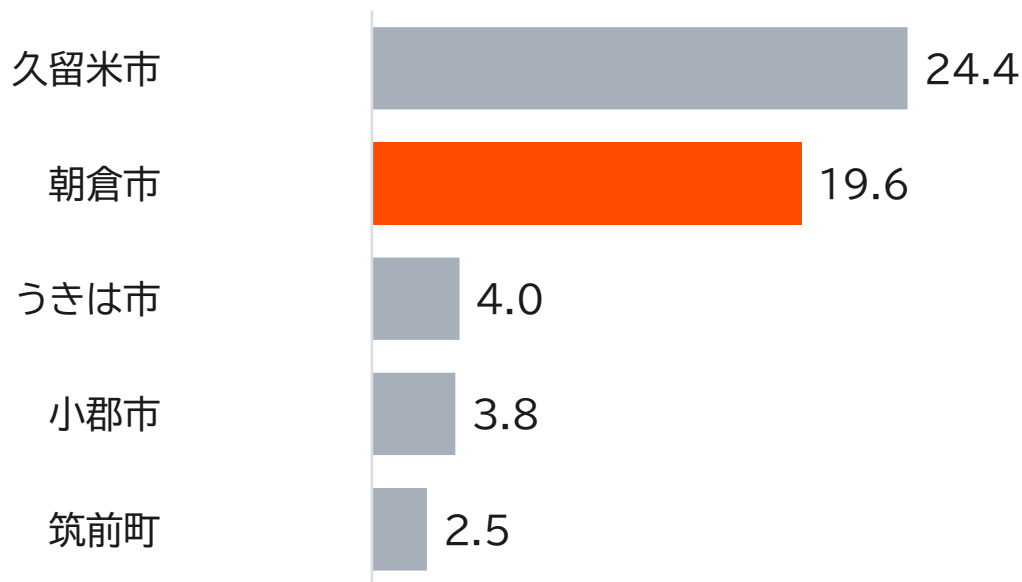
2021年度(令和3年度)から、給与所得控除と公的年金等控除が10万円ずつ縮小され、給与や年金を受け取る人の値は約10万円高く出ます

2024年度は定額減税の影響で納税義務者数が減っているため、比べていません

出典:総務省「市町村税課税状況等の調」(社会・人口統計体系)。控除の見直しは国税庁・総務省の資料による

ふるさと納税の受入額は19.6億円で、 福岡県内60市町村中11位です

近くの4市町との比較(令和7年度・決算見込、億円)



受入額には返礼品などの経費も含まれ、そのまま市の収入ではありません
 比べた近くの4市町(久留米市・うきは市・小郡市・筑前町)の中では、久留米市
 に次ぐ額です
 県内の順位(60市町村中):久留米市9位、朝倉市11位、うきは市34位、小郡市
 36位、筑前町46位

朝倉市の受入件数

9.4 万件

令和7年度・決算見込

事業者の着眼点

- 全国の寄附者に、朝倉の産品を知ってもら
う入口になる
- 返礼品として出せる
商品があるか、市の担
当に相談

景気の実感(参考): 福岡県の企業は下げ止まり、 全国・九州の小企業は悪化の見通しです

福岡県・全規模(BSI)

参考

−4.4 → +2.8

2026年7～9月期

10～12月期の見通し
(上向き)

福岡県・中小企業(BSI)

参考

−10.7 → −0.5

2026年7～9月期

10～12月期の見通し
(ほぼ横ばい)

全国・小企業(DI)

参考

−23.3 → −32.3

2026年4～6月期

7～9月期の見通し
(悪化)

九州・小企業(DI)

参考

−25.4 → −38.1

2026年4～6月期

7～9月期の見通し
(悪化)

BSI＝前の期と比べ「上昇」―「下降」と答えた企業の割合(方向。0に近いほど横ばい)

DI＝「良い」―「悪い」と答えた企業の割合(水準)。調査・対象・時期が異なるため、4つを直接比べません

見通しは回答した企業の予想で、時期は調査で異なります。いずれも朝倉市だけの値ではありません

06

事業者の皆さまへ

ここまでのデータを、自社の次の一手と、申請書づくりにつなげます。

あなたの業種はどれですか

製造業・食品

p.37

建設業

p.38

小売・生活サービス

p.39

飲食店

p.40

宿泊・観光関連

p.41

農業関連

p.42

自社に当てはめる3つの問い p.43 申請書に使える一文 p.44～46

製造業・食品：市内で最も多くの人働く産業。 食料品の出荷額は2021年から毎年増加

働く人

5,511 人

2021年・市内最多

事業所

195 所

2021年

食料品の出荷額

463 億円

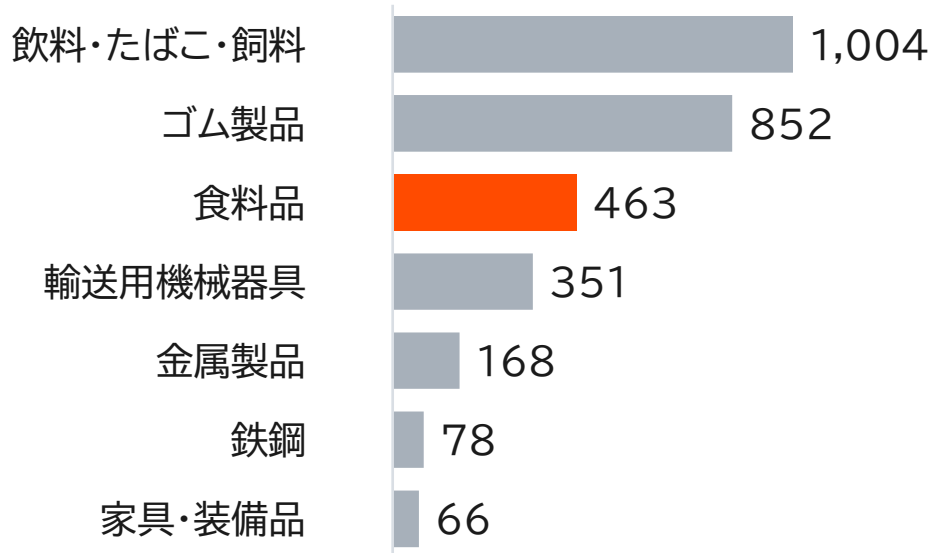
2023年

小規模の食料品製造

-16 %

2016→2021年
2021年は37所

業種別の製造品出荷額等(2023年、億円)



確かめたい問い

- 主な取引先の生産の見通しを、取引の計画に入れているか
- 地元の農産物を使った加工で、新しい商品を作れないか
- 人手不足に、省力化・自動化で備えているか

会議所がお手伝いできること
経営の分析／販路の開拓
IT・デジタル化

建設業: 働く人1,558人・248事業所。 小規模事業者の工事業は5年で減少

働く人

1,558 人

2021年

事業所

248 所

2021年

生まれた価値

242 億円

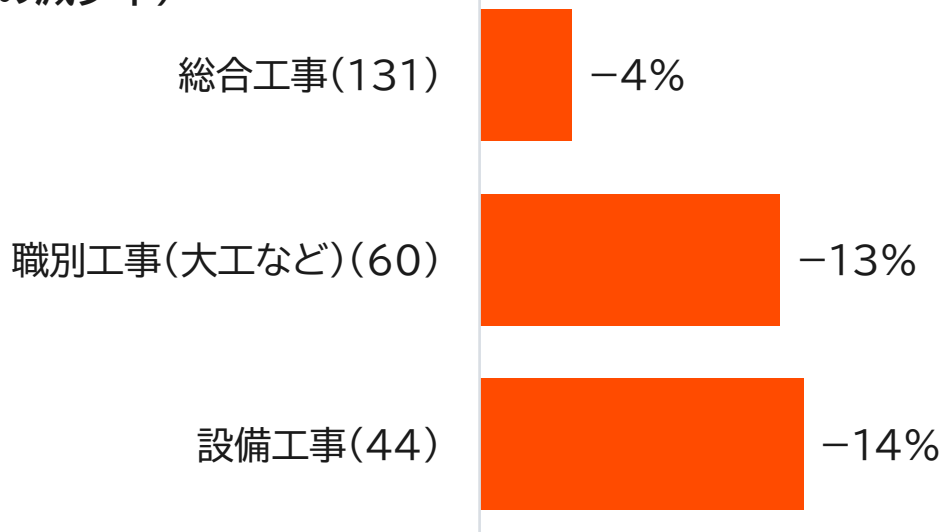
2022年・推計・市内3位

小規模の総合工事

-4%

2016→2021年
2021年は131所

小規模事業者の工事業の事業所数(2016→2021年
の減少率)



確かめたい問い

- 担い手の年齢と、技能を引き継ぐ段取りはできているか
- 災害への備え・修繕の需要に、どう応えるか
- 元請・下請の関係の変化に備えているか

会議所がお手伝いできること
事業承継／経営の分析
IT・デジタル化

小売業・生活サービス: 身近な店が5年で減少。 食料品店は168→147、理容・美容などは172→149

卸売・小売で働く人

4,528 人

2021年

食料品店

147 所

2016年は168

理容・美容など

149 所

2016年は172

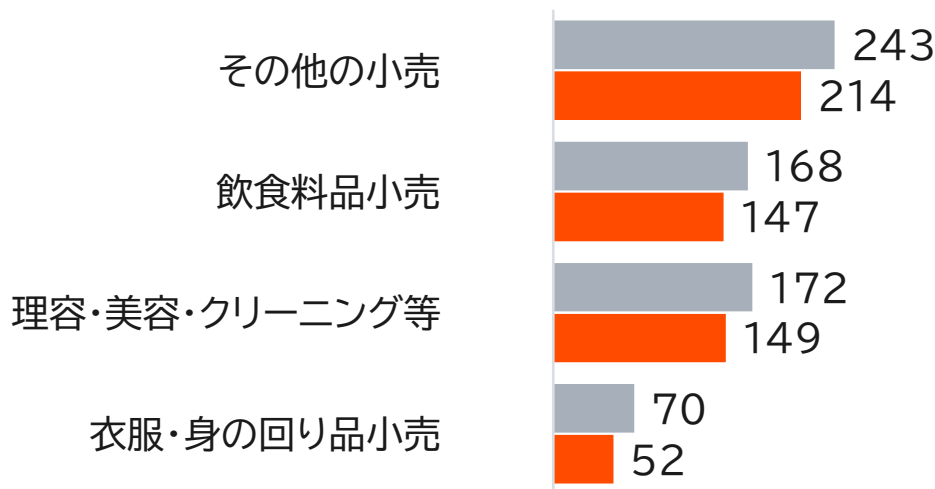
65歳以上

17,889 人

住民基本台帳
2026年1月

暮らしに身近な店の事業所数(2016年→2021年)

■ 2016年 ■ 2021年



確かめたい問い

- 近くの店が閉じた地区のお客様を、配達・予約で受けられないか
- 高齢のお客様の「困りごと」を商品にできないか
- 後継ぎの見通しはあるか

会議所がお手伝いできること
事業承継／販路の開拓
IT・デジタル化

飲食店: 事業所・働く人とも5年で減少。 観光客の飲食費は国内4,497円(支払った人の平均)

飲食店

208 所

2021年
2016年は240

飲食店で働く人

1,144 人

2021年
2016年は1,381

観光客の飲食費

4,497 円

支払った人の平均
国内客・2025年

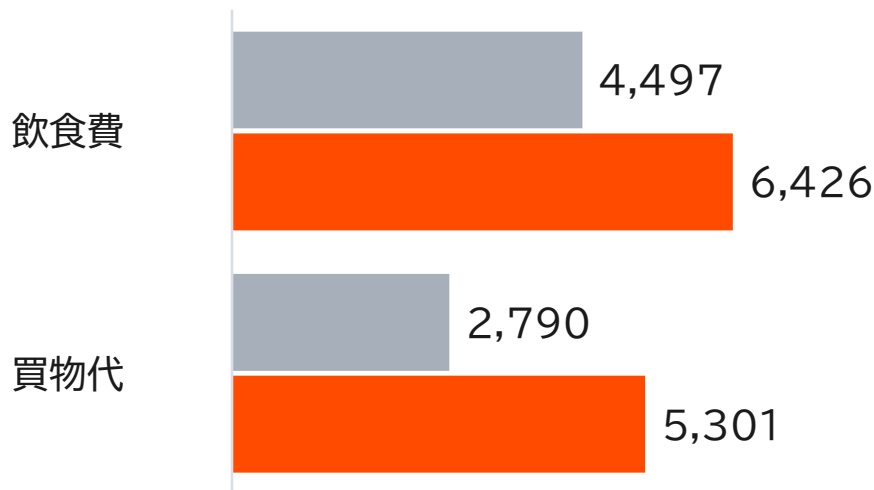
延べ宿泊者数

22.1 万人

2025年

観光客の支払額(支払った人の平均、2025年、円)

■ 国内の観光客 ■ 海外からの観光客



確かめたい問い

- 観光客(県外・海外)を迎えるメニューや表示があるか
- 地元の食材(ねぎ・かきなど)を、名物として打ち出せないか
- 人手不足の中で、営業時間や予約の仕組みを見直せないか

会議所がお手伝いできること
販路の開拓／IT・デジタル化
経営の分析

宿泊・観光関連: 延べ宿泊者数は4年で1.7倍。 県外からの宿泊が3.6倍に伸びています

延べ宿泊者数

22.1 万人

2025年

県外からの宿泊

12.6 万人

2021年は3.5万人

国内の観光客

34.3 万人

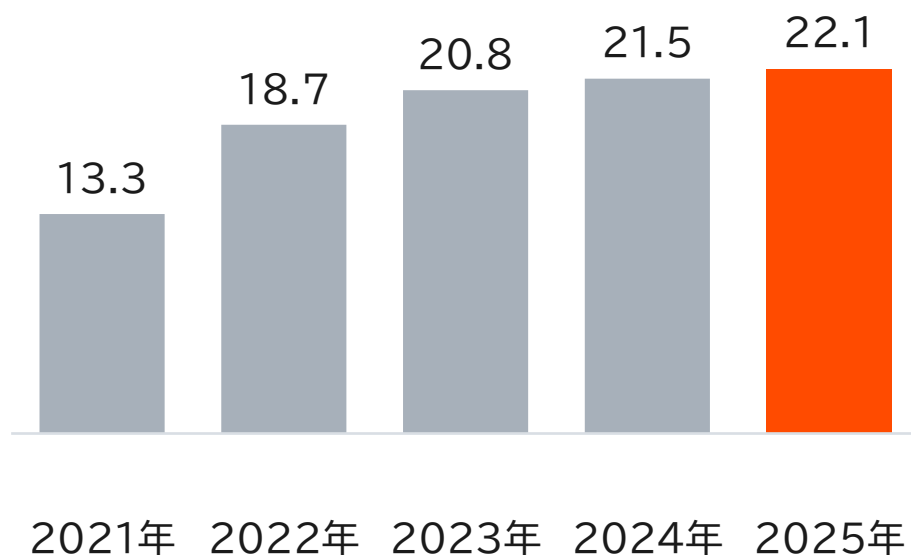
2025年・推計

観光客数の県内順位

11 位

60市町村中

延べ宿泊者数(日本人、万人)



確かめたい問い

- 県外(長崎・大分・熊本など)のお客様に、何で選ばれているか
- うきは・日田と組んだ周遊の中で、自社はどこに入れるか
- 海外のお客様への案内(言葉・支払い)は十分か

会議所がお手伝いできること
販路の開拓／IT・デジタル化
創業

農業関連: 産出額166.2億円で県内4位。 ねぎ22.6億円・かき15.0億円の産地です

農業産出額

166.2 億円

2024年・推計・県内4位

ねぎ

22.6 億円

全国4位・県内1位

かき

15.0 億円

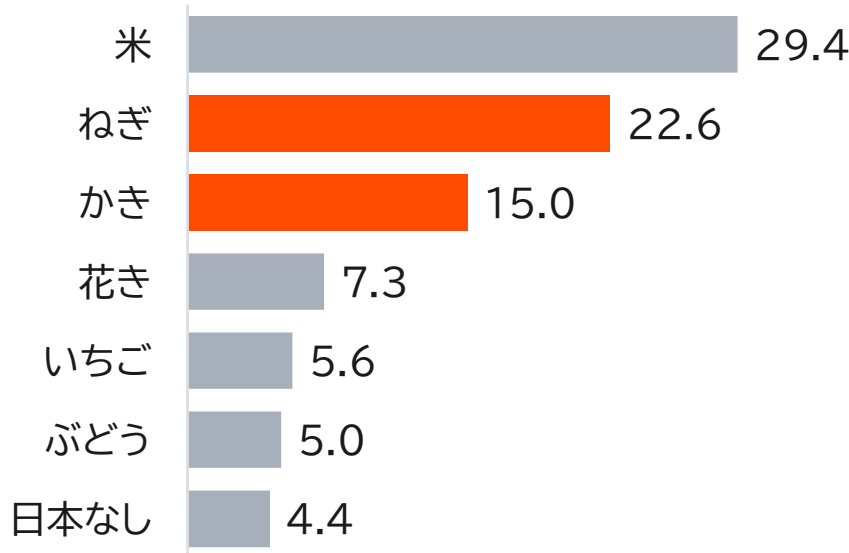
全国7位・県内2位

米

29.4 億円

県内2位

主な品目の産出額(2024年、推計、億円)



確かめたい問い

- 県内上位の品目を「朝倉産」として加工・直売できないか
- 観光客・県外の方へ直接届ける経路はあるか
- 担い手と省力化の見通しは

会議所がお手伝いできること
販路の開拓／事業承継
創業

自社に当てはめる3つの問い



お客様はどこから来ていますか？

市内・近隣の市町・県外・海外。変化はありますか。

関連 p.16、27～29



市外から買っているものは？

仕入れや外注を市内でまかなえないか。市外に売れる分野はないか。

関連 p.10



人手と後継者の備えは？

作業の見直し・IT化・事業承継をどう進めるか。

関連 p.13、32

朝倉商工会議所がお手伝いできること

経営の分析 ／ 事業計画づくり ／ 販路の開拓

IT・デジタル化 ／ 事業承継 ／ 創業

事業計画書・補助金の申請書に使える一文(1/3)

出典と時点を添えて、そのままお使いいただけます

分野	引用できる一文	出典・時点
人口 p.12	朝倉市の人口は47,469人で、5年前から2,804人(5.6%)減少した。	国勢調査(速報) 2025年10月1日
高齢化 p.13	朝倉市の65歳以上人口の割合は36.1%である。	住民基本台帳 2026年1月1日
将来人口 p.12、13	朝倉市の人口は2050年に約3.3万人、65歳以上の割合は44.3%となる見通しである(推計)。	社人研の推計(令和5年) 推計(2050年)
人口の動き p.14	朝倉市では、出生数から死亡数を引いた自然増減が4年続けて500人を超える減少となっている(2025年は559人の減少)。	住民基本台帳 2022~2025年(各年1~12月)
稼ぐ力 p.7、8	朝倉市内で生まれた付加価値額は2,905億円(推計値)で、その51.2%を第2次産業が占める(全国は25.6%)。	地域経済循環分析 (環境省) 2022年

申請書に書くときは、文と一緒に出典と時点も書いてください。数字は、各機関が新しい値を公表すると変わります。申請の前に、必ず最新の値をご確認ください。

事業計画書・補助金の申請書に使える一文(2/3)

出典と時点を添えて、そのままお使いいただけます

分野	引用できる一文	出典・時点
お金の流れ p.10	朝倉市では、食料品などの製造業は市外への販売額が市外からの購入額を上回る一方、卸売業・情報通信業・専門サービスなどは市外から購入する額の方が大きい(移輸入入収支、推計値)。	地域経済循環分析 (環境省) 2022年
産業 p.19	朝倉市で従業者が最も多い産業は製造業(5,511人)で、卸売業・小売業(4,528人)、医療・福祉(3,812人)の順である。	経済センサス-活動調査 2021年6月1日
身近な店 p.21	朝倉市の飲食店は240事業所から208事業所に、飲食料品小売業は168事業所から147事業所に減少した。	経済センサス-活動調査 2016年→2021年
ものづくり p.23	朝倉市の食料品製造業の製造品出荷額等は、2021年の404億円から2023年の463億円へ、毎年増加した。	経済構造実態調査 2021~2023年
農業 p.24	朝倉市は、ねぎが全国4位、かきが全国7位の産地であり、農業産出額は166.2億円で福岡県内4位である(推計)。	市町村別農業産出額 (推計) 2024年

(推計)と書いた文は、実際に数えた値ではなく、他の統計から計算した値です。

事業計画書・補助金の申請書に使える一文(3/3)

出典と時点を添えて、そのままお使いいただけます

分野	引用できる一文	出典・時点
観光・宿泊 p.27	朝倉市の延べ宿泊者数(日本人)は22.1万人で4年前の1.7倍となり、県外からの宿泊は3.6倍に増えた。	観光予報プラットフォーム 2021年→2025年
観光客 p.28	朝倉市を訪れた国内の観光客は約34.3万人で、福岡県内60市町村中11位である(推計)。	Visa加工データ 2025年
人手不足 p.32	朝倉公共職業安定所管内(朝倉市・朝倉郡)の有効求人倍率は1.80倍で、福岡県全体(1.02倍)を上回っている。	職業紹介の状況 2026年7月(原数値)
賃金 p.32	福岡県の最低賃金は、2026年10月4日に1,057円から1,114円へ引き上げられた。 ※2026年10月4日発効(福岡労働局発表で確認)	福岡労働局の改定決定 2026年10月4日発効

(推計)と書いた文は、実際に数えた値ではなく、他の統計から計算した値です。

データの時点と、公表の周期

数字は、それぞれの統計の公表されている最新の値です

統計	この資料の時点	公表の周期	頁
地域経済循環分析(環境省)	2022年(推計)	数年ごと	p.7~10
経済センサス-活動調査	2021年6月	5年ごと	p.19~22
経済構造実態調査(製造業)	2023年	毎年	p.23
市町村別農業産出額(推計)	2024年	毎年	p.24、25
国勢調査	2025年10月(速報)	5年ごと	p.12、13
地域別将来推計人口(社人研)	令和5年推計	おおむね5年ごと	p.12、13
住民基本台帳(人口・人口動態)	2026年1月1日	毎年	p.14、15、17
住民基本台帳人口移動報告	2024年	毎年	p.16
観光予報プラットフォーム(宿泊)	2025年	毎年(RESAS)	p.27
Visa加工データ(観光客)	2025年	毎年(RESAS)	p.28~30
職業紹介の状況(福岡労働局)	2026年7月	毎月	p.32
地域別最低賃金	2026年10月4日発効	毎年	p.32
市町村税課税状況等の調	2023年度	毎年	p.33
ふるさと納税に関する現況調査	令和7年度	毎年	p.34
法人企業景気予測調査(福岡県)	2026年7~9月期	四半期ごと	p.35
全国中小企業動向調査(小企業編)	2026年4~6月期	四半期ごと	p.35

次回の公表日は各機関の発表でご確認ください。公表後に数値を訂正した場合は、版を上げて訂正の内容を追記します

用語の説明

用語	意味
付加価値	売上から、材料費など外から買った分を引いた価値
地域経済循環率	生まれた価値÷所得。高い・低いで良し悪しは決まらない
移輸出入収支	市外へ売った額から、市外から買った額を引いたもの
雇用者所得	事業所が働く人に支払った給料など
自然増減・社会増減	出生－死亡／転入－転出(その他の記載・消除を含む)
経済センサス	全国の事業所・企業を調べる国の統計(5年ごと)
小規模事業者	従業員の少ない事業者(RESASの区分による)
有効求人倍率	求人数÷仕事を探す人の数。1倍を超えると人手不足
延べ宿泊者数	泊まった人の数×泊数(1人が2泊すると2人と数える)
課税対象所得	住民税の計算のもとになる、前の年の所得
推計値	実際に数えた値ではなく、他の統計から計算した値
秘匿(X)	事業所が特定されないよう公表していない数字。0ではない
景況判断BSI	前の期と比べ「上昇」－「下降」と答えた企業の割合(方向)
業況判断DI	「良い」－「悪い」と答えた企業の割合(水準)
国勢調査・住民基本台帳	国勢調査は住んでいる人、住民基本台帳は住民登録の数

データの読み方と注意

- 数字は各機関が公表した最新の値です。統計ごとに年が違います。
- 「推計」は、他の統計から計算した値です(地域経済循環・将来人口・観光客など)。
- 国勢調査と住民基本台帳は数え方が違うため、同じ図では比べていません。
- 2時点だけの比較は「変化」と書き、「傾向」とは書いていません。
- 2017年7月の九州北部豪雨、2020年からのコロナ禍、2023年7月の大雨の影響を含む期間があります。
- 県・九州・全国の値は参考です(朝倉市の値ではありません)。
- 四捨五入のため、内訳の合計が全体と合わないことがあります。

計画の調査項目との対応

①生産分析

RESAS 生産分析(p.7~10)

②まちづくりマップ(From-to)

転入・転出の相手先(p.16)

③産業構造マップ

経済センサス等(p.19~25)

④観光マップ(目的地)

前後に訪れた市町村(p.29)

⑤観光マップ(From-to)

宿泊者・観光客の居住地(p.27、28)

②④は、RESASの刷新(2025年3月)で同じ名前の機能がなくなったため、近い機能で代替しました。

出典一覧

- ・ 環境省「地域経済循環分析」(2022年・推計値):RESAS 地域経済循環分析・生産分析・地域経済総合分析
- ・ 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」(平成28年・令和3年)、「経済構造実態調査(製造業事業所調査)」:RESAS 地域経済総合分析
- ・ 総務省「国勢調査」(令和2年・令和7年速報)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」
- ・ 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(令和8年1月1日)、「住民基本台帳人口移動報告」
- ・ 観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」、Visa Consulting & Analytics 加工データ(いずれもRESAS)
- ・ 農林水産省「令和6年 市町村別農業産出額(推計)」、総務省「ふるさと納税に関する現況調査」「市町村税課税状況等の調」
- ・ 福岡労働局「職業紹介の状況」(令和8年7月分)、福岡労働局「最低賃金の引上げ決定」(令和8年9月4日公示)
- ・ 財務省福岡財務支局「法人企業景気予測調査(福岡県分)」
- ・ 日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査(小企業編)」

発行:朝倉商工会議所(福岡県朝倉市甘木955-11 電話 0946-22-3835) 分析協力:中小企業診断士

版:令和8年度版修正版(2026年10月5日、最低賃金のみ更新) データ取得日:2026年9月24日 RESASの図表・数値は「地域経済分析システム(RESAS)」を加工して作成

公表後に数値を訂正した場合は、版を上げて訂正の内容を追記します